

(試験研究課題年次別解説集様式3号：完了課題用)

天然・栽培資源の漁業に関する研究(トラフグ)

(多元的資源管理型漁業の推進に関する研究)

(予算区分 委託、補助 研究期間 平成15～16年度)

漁業開発部

【研究の背景とねらい】

三重、愛知、静岡、3県の共通の資源であるトラフグ伊勢・三河湾系群の資源水準を市場調査による漁獲物の年齢組成と漁獲統計資料の解析から評価し、持続的な利用が可能な適正漁獲量を推定します。また、10～2月に操業されるはえ縄漁業の収入増大を図るための操業方法について提言します。

【研究成果】

- ・トラフグの漁獲量は不定期に発生する卓越年級群の影響により大きく変動しました。
- ・現状のトラフグに対する漁獲圧は加入量あたり最大の漁獲量が得られる最適な漁獲圧の約1.8倍と推定され、高い漁獲圧がトラフグにかけられていると考えられました。
- ・はえ縄漁期(10～2月)に水揚げされるトラフグは漁期中に成長による増重がみられ、単価も年末にかけて増加する傾向がありました。

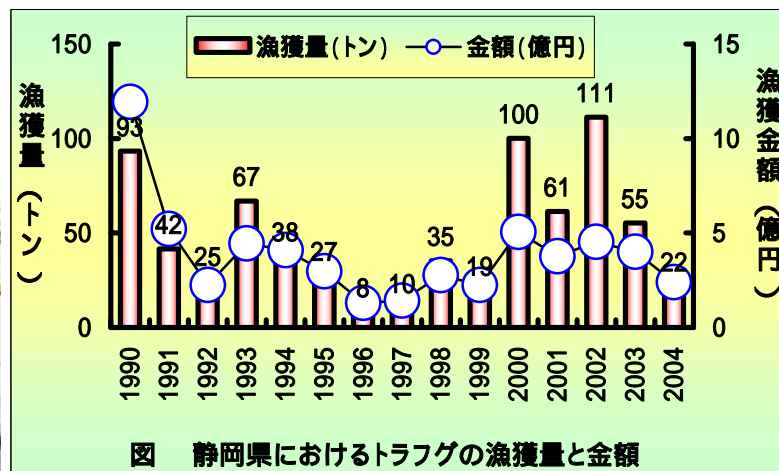


図 静岡県におけるトラフグの漁獲量と金額

【研究成果の普及方法】

- ・推定される現状のトラフグの資源水準については、はえ縄漁期前に研修会をとおして漁業者にお知らせします。
- ・トラフグの資源維持と漁業収入の増加を目指すための新たな漁業管理措置をはえ縄漁業者および仲買人との合意形成後に実施します。

(作成 平成17年3月)